

助成受給団体名	ふりがな あいづこどもげきじょう 会津子ども劇場
事業の名称	傾聴電話事業「ママパパラインふくしま」
実施期間	2016 年 8 月 1 日 ～ 2017 年 7 月 31 日
実施した事業の内容	
<p>① 「ママパパラインふくしま」のカード 100,000 枚を福島県内の 19 の市町村の</p> <p>② 各教育委員会を通して配布。子どもたちの手から養育者のもとへ届けた。県庁を訪問し周知協力を依頼した。</p> <p>③ 毎月第 1・第 3 木曜日 10:00～16:00 まで電話開設 全国キャンペーンとして他の地域のママパパライン 7 か所と同時に 2017 年 2 月 13 日 (月)～2 月 18 日 (土) の 6 日間連続で電話を開設しました。 開設日 29 日 電話件数 40 件 通話時間 1960 分 1 件平均 49 分</p> <p>④ 養成講座 5 回開催し、傾聴のスキルアップを図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自己肯定感を育てる親子関係の作り方 ● 傾聴の実践から見えてきたもの ● 子育て支援が必要な家庭への対応 ● アサーティブトレーニング「つながりは力」 ● 傾聴電話事業からの学び 	
事業の成果	
<p>① 電話件数が昨年度より 129%増加。継続して 100,000 枚カードを配布している成果です。</p> <p>② 継続している事業なので各市町村の教育委員会の対応もスムーズになり「ママパパラインふくしま」の信頼を得てきている。</p> <p>③ 専門家の講座を実施することで、スタッフのスキルアップになり傾聴へのモチベーションアップと自信につながっている。</p> <p>④ 深刻な内容に対してもしっかり耳を傾け冷静に対応できている。</p> <p>⑤ 聴いてもらって気持ち楽になりましたと電話を切る頃の相手の声の変化にこの事業の必要性と成果をスタッフ一同感じている。</p> <p>⑥ 事業運営の要である電話代の確保が保障されていることで安心して事業が実施できた。</p>	
今後の課題	
<ul style="list-style-type: none"> ● 福島県は虐待の件数の伸び率が全国 1 位になった。虐待未然防止のためにも継続の資金確保 ● 現代の子育て世代が抱える問題や現状を知る講座の実施 ● 産後うつ等の乳幼児を持つ養育者へのアプローチの工夫 	



あなたをひとりにはしない・させない!「ママパパライン」

「ママパパラインふくしま」

電話だからこそ何でも言える。気軽にダイヤルを!

0242-85-7878

通常開設は第1・3木曜日 10:00～16:00
2017年2月13日(月)～2月18日(土)は
全国キャンペーンにつき、毎日開設しております。

助成：(公財)日工組社会安全財団

子どもをもつママ・パパ・家庭の子育ての悩みや不安、とまどい、喜び等の気持ちを聴く専用電話です。

ママパパラインほっかいどう	080-6062-4735	(毎週月)	13時～16時
ママパパライン仙台	022-773-9140	(毎週金)	10時～16時
ママパパラインちば	043-204-9390	(毎週金)	10時～16時
ママパパライン東京川の手	03-3633-0415	(第1・3金)	13時～16時
ママパパラインあいち	052-203-8655	(毎週水)	10時～16時
ママパパラインわかやま	073-432-3690	(毎週火)	13時～16時
ママパパラインひょうご	080-3866-8333	(毎週水)	10時～14時

2012年から開設しています。
「ママパパラインふくしま」は福島県・会津若松市・福島県医師会等の後援を受けて開設されています。

会津子ども劇場
TEL・FAX 0242-27-0588 E-mail a-kogeki@pluto.plala.or.jp